

# 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

## 事業名 専攻医確保対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 医療人材確保係 電話番号：058-272-1111 (内3278)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,882 千円 (前年度予算額： 3,965 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,965	3,770	0	0	0	0	0	0	195
要求額	3,882	3,728	0	0	0	0	0	0	154
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内の医師数は全国平均数を大きく下回っており、医師不足は深刻な状態となっている。

人口10万人あたり医療施設従事医師数	全国平均	262.1人
〃	岐阜県	231.5人

この状況を改善するためには、県内のみならず県外からも専門医研修を行う専攻医を多く確保し、専門研修の段階から県内病院への就業を促進し、県内医師数の確保及び定着を図る必要がある。

### (2) 事業内容

- ア 専攻医確保のための方策の検討を行う都道府県協議会の開催
- イ 指導医が不足する研修施設へ指導医を派遣する病院に対し、派遣時の代替医師雇用経費を支援

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：国1/2

(4) 類似事業の有無

初期臨床研修医等確保対策事業

初期臨床研修医を確保するための協議会や合同説明会の開催、医師確保の広報や魅力向上策への支援を行う事業であり、本事業とは異なる。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	53	協議会委員費用弁償、業務旅費
報償費	221	協議会委員報償費
消耗品費	10	協議会資料等
会議費	11	協議会お茶代
役員費	12	協議会通信運搬
補助金	3,575	プログラム説明会、指導医手当、代替医師経費等への補助
合計	3,882	

**決定額の考え方**

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

第8期岐阜県保健医療計画

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内で専門研修をする医師を増やすことで、地域医療に従事する医師を増やし、どの地域にあっても、誰もが不安なく医療が受けられる体制を整える。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H18)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	
					達成率	
人口10万人対医療施設従事医師	173.0人	231.5人 (R4)	245人	249.5人	249.5人 (R8)	92.8%

### ○指標を設定することができない場合の理由

--

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） 令和4年度は都道府県協議会を8月と10月に開催し、各基幹病院の専門研修プログラムの内容を確認、検討した他、県主催の専攻医確保対策事業の骨子について意見交換を実施した。</li> <li>8月の都道府県協議会での協議の結果、地域医療の確保から改善が必要な事項について（一社）日本専門医機構へ意見書を提出した。</li> </ul>
	指標 目標：235.9 実績：224.5 達成率：95.2%
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） 令和5年度は都道府県協議会を8月と2月に開催し、各基幹病院の専門研修プログラムの内容を確認、検討した他、県主催の専攻医確保対策事業の実施状況と今後の方針について意見交換を実施した。</li> <li>8月の都道府県協議会での協議の結果、地域医療の確保から改善が必要な事項について（一社）日本専門医機構へ意見書を提出した。</li> </ul>
	指標 目標：249.5 実績：231.5 達成率：94.5%
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） 令和6年度は都道府県協議会を8月と2月に開催し、各基幹病院の専門研修プログラムの内容を確認、検討した他、県主催の専攻医確保対策事業の実施状況と今後の方針について意見交換を実施した。</li> <li>8月の都道府県協議会での協議の結果、地域医療の確保から改善が必要な事項について（一社）日本専門医機構へ意見書を提出した。</li> </ul>
	指標 目標：249.5 実績：231.5 達成率：94.5%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>専門研修を行う専攻医を確保することで研修修了後の県内定着が見込まれ、医師不足の解消につながるため、必要性が高い。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  <small>3 : 期待以上の成果あり                  2 : 期待どおりの成果あり                  1 : 期待どおりの成果が得られていない                  0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>新たな専門医制度は平成30年度から本格的に開始しており、今後の専攻医の応募状況やローテーション状況を注視する必要がある。</p>
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか)  <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 1	<p>協議会是对面とオンラインのハイブリッド開催で実施する、同様の参加者である臨床研修病院協議会とスケジュールを合わせる等、円滑な議事進行のため個別に調整を実施している。</p>

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  8月の都道府県協議会について、国からの協議依頼が到達するのが遅い一方、協議の結果、専門医制度上地域医療の確保から改善が必要な事項について意見書を提出するといった重要度の高い協議会であるため、対面での協議会実施の可能性を検討する必要がある。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>                  専攻医が県外流出しないよう、県内の専門研修プログラムを魅力的なものにするため、岐阜県医師育成・確保コンソーシアムとの連携などを検討していく。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント                  又は事業名及び所管課                  組み合わせる理由                  や期待する効果 など</p>	
---	--